

KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

U535 E333

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Basic Operation	10
共通操作	10
ミュージックディスクや オーディオファイルを聴く	12
ラジオを聴く	14

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Music Disc & Audio File Listening	15
スキャンプレイ	15
ランダムプレイ	15
リピートプレイ	15
iPodブラウズ項目選択	16
マガジンランダムプレイ	16
リストセレクト	16
トラックセレクト	17

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Audio Control	18
オーディオコントロール	18
オーディオコントロールの詳細設定	18
サブウーファー出力コントロール	19
オーディオセットアップ	20
スピーカー設定	21

Display Control	22
ディスプレイ表示切り替え	22
タイトル/テキストスクロール	22
操作パネルの取り外し	23
操作パネルの取り付け	23

Menu Control	24
メニュー設定	24
時刻合わせ	25
AUXネームセレクト	25

リモコンで本機を操作する方法が書いてあります。

Remote Controller (U535付属)	26
共通操作	26
ラジオ	26
CD/USBデバイス	27
電池の入れかた	27

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help?	28
オーディオファイル	28
Troubleshooting	28
Help? Term	29
共通	29
オーディオコントロール	29
MENU	30
Help? Error	31

取り付け時のご注意	32
接続	34
取り付け	36

仕様一覧	37
保証とアフターサービス	38

本書の読みかた
安全上のご注意
使用上のご注意

Basic Operation

Music Disc & Audio File Listening

Audio Control

Display Control

Menu Control

Remote Controller

Help?

取り付け時のご注意
接続
取り付け

AAC, MP3, WMAのプレイについて

本書ではiPodやUSBデバイス、CD-R/RWに記録されているAAC, MP3, WMAのことを「オーディオファイル」と表記しています。これらの操作をしたい場合は、「オーディオファイル」の項目を参照してください。詳しくは「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



上へ



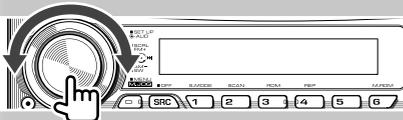
下へ



左へ



右へ



コントロールノブを回す

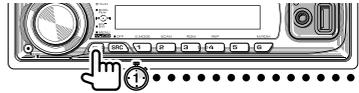
- ▼ : 次の段に続きます。
- : ここで終わりです。

AUX名称セレクト

U535

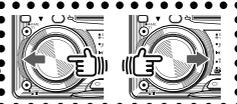
ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前(AUX名称)を設定します。

1 AUX名称選択を開始します

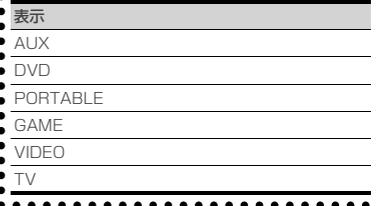


現在設定しているAUX名称が表示されます。

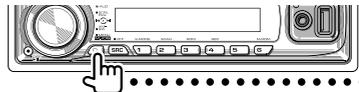
2 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。



3 AUX名称選択を終了します



- 10秒以上何も操作しないと、AUX名称選択は自動的に終了します。
- AUX名称を設定できるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

使用できるモデル

機能によっては、使用できるモデルに制限がある場合があります。使用できるモデルを下のマークで表します。

U535 : U535

1秒以上押す

 で示したキーまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでキーを押し続けることを表しています。左記の例では1秒間押すことを示しています。記載された数字を目安にしてください。

ディスプレイ表示

この表示になるまで上の操作を行います。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

短く押す

 で示したキーまたはノブを押す。

その他のマーク



ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

AppleおよびiPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

WindowsおよびWindows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is trademark of Dolby Laboratories.

本書のパネルイラストについて

本書では操作を説明するイラストに、U535の操作パネルを使用しています。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



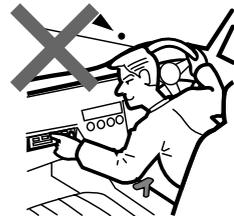
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSBデバイスの接続・取り出しなど）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

USBデバイスとUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

修製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



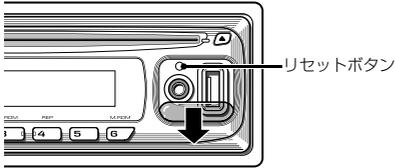
実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p28)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX EXT”と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに“AUX EXT”と表示される。

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

●
本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

●
本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p28)を参照してください。

●
使用するUSBケーブルにはCA-U1EX(別売品)をお勧めします。USB規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が5m以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

U535/E333に接続できるシステムについて

●
本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種名はカタログをご覧ください。

●
“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

●
接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●
別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S220A”を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p34)および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

●
本機およびKCA-S220Aには1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

お手入れについて

●
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

●
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

●
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

●
ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

●
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

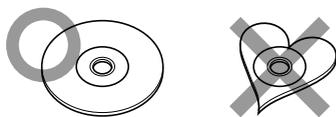
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。

（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

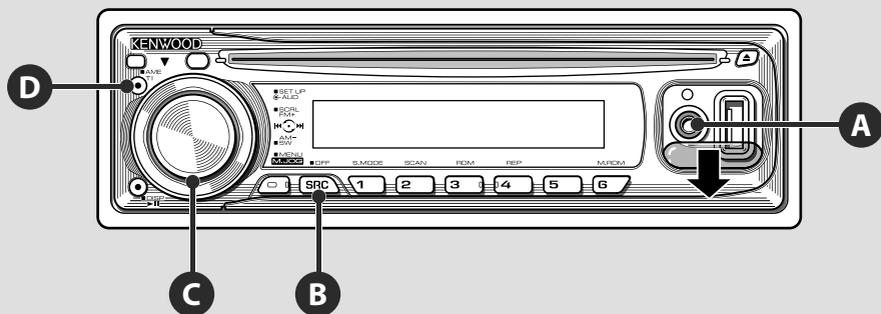
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できるリモコンについて

本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。なお、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

Basic Operation

共通操作



B

電源をオン/オフします

キーを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

D

交通情報を聴きます

キーを押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **C** を左右に動かすと、交通情報の周波数 (1620kHz/1629kHz/522kHz) を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にコントロールノブ **C** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

C

音量を調整します

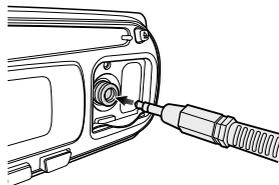
小さく 大きく



A B

外部機器を聴きます

AUX端子にポータブルオーディオ機器などを、市販のミニプラグケーブル (3.5φ) で接続します。



次に **[SRC]** **B** を押して "AUX" ソースに切り替えます。



- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。



注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

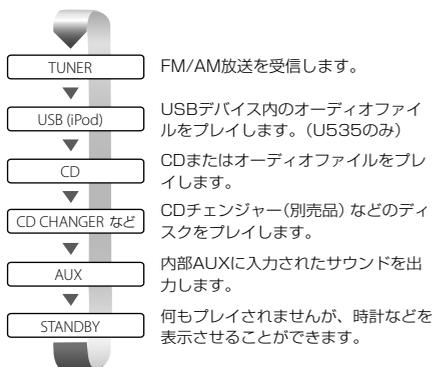
時計の調整について

時計の調整はメニューで行います。
詳しくは「メニュー設定」(p24)をご覧ください。

B

ソースを切り替えます

キーを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



- プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、フォーマットについては「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。
- CDやオーディオファイルディスク・デバイスを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- AUXソース表示は「AUXネームセレクト」(p25)で変更することができます。
- iPodをKCA-iP100(別売品)で本機に接続していると、「USB」表示は認識後に「iPod」になり、本機からコントロールが可能となります。iPodとの接続については「接続」(p34)を参照してください。

C

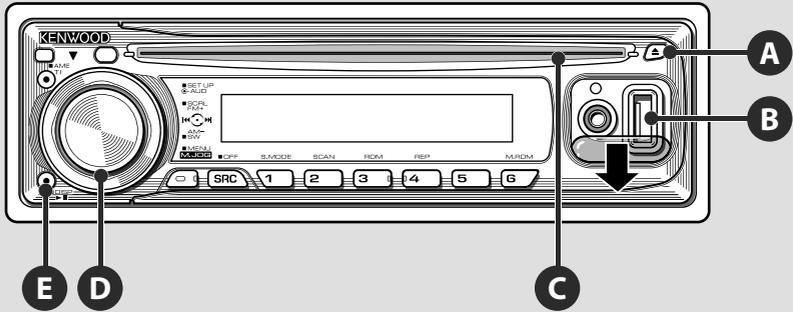
音質などを調整します

設定したいソースにしてからノブを押して調整する項目を選択し、ノブを左右に回して調整します。調整項目は次の順に切り替わります。



- 音質調整は、各種の設定により表示される項目が変わります。詳しくは「オーディオコントロール」(p18)をご覧ください。
- イコライザーカーブ、低音、中音、高音は、ソースごとに設定できます。
- イコライザーカーブの「USER」設定は、「BAS L」、「MID L」、「TRE L」の調整した値です。U535では常時選択可能です。E333では音質調整を行ったときのみ表示されます。また、E333では他の設定を選択すると、選択項目から消去されます。
- イコライザーカーブの設定をすると、「BAS L」、「MID L」、および「TRE L」は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。
- 音質調整は、コントロールノブ 、[TI] 、または[▲]  以外のボタンを押しても解除できます。

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



C-A

CD/オーディオファイルをプレイします

ディスク挿入口●にディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

ディスクを取り出します

イジェクトボタン▲を押します。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- 8cmディスクを取り出した後は、ディスク挿入口に放置せず、速やかにケースなどに保管してください。放置しておくと、振動などにより落下する場合があります。
- ディスクが入っているときは、**IN**インジケーターが点灯します。
- 通常のCDのほか、オーディオファイルが収録されたCD-Rなどをプレイできます。プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマットなどについては、「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p15)をご覧ください。

E

プレイ/ポーズします

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

D

早送り/早戻しします

コントロールノブ●を右側へ押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。また、コントロールノブ●を左側へ押し続けると、押し続けている間、早戻しされます。



- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音は出ません。

D

プレイする曲を選びます

コントロールノブ●を右側へ押すと、次の曲がプレイされます。
コントロールノブ●を左側へ押すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



- コントロールノブを回して、曲を素早く探すこともできます。詳しくは「リストセレクト」(p16)をご覧ください。

D

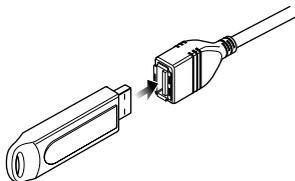
プレイするフォルダ/ディスク(ディスクチェンジャー中)を選びます

コントロールノブ●を上側へ押すと、次のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。
コントロールノブ●を下側へ押すと、前のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。

B A

USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします (U535のみ)

USBメモリーやiPodなどのUSBデバイスを④に接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。



USBデバイスを取り外します

イジェクトキー④を2秒押ししてリムーブモードにしてから、USBデバイスを取り外します。リムーブモードになると“USB REMOVE”と表示されます。

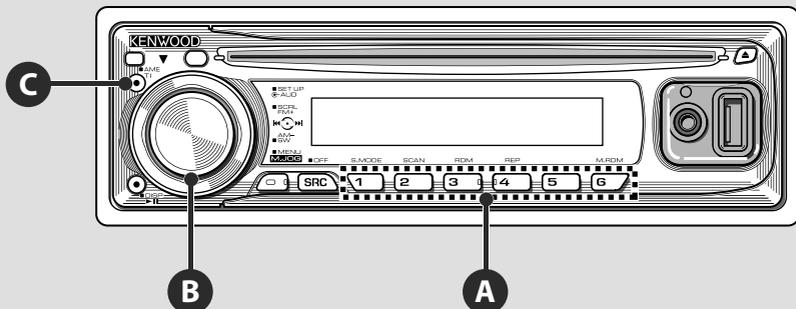


- リムーブモードにしないでUSBデバイスを取り外すと、USBデバイス内のデータが破損する場合があります。



- iPodを接続するためにはKCA-iP100 (別売品) が必要です。そのほかのUSBメモリーなどは、別売品USBケーブル (推奨品: CA-U1EX) を介して接続してください。
なお、本書で「iPod」と呼んでいるのは、KCA-iP100で接続されたiPodを指します。
- USBデバイスを接続中は、**USB**インジケータが点灯します。
また、USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると“NO DEVICE”と表示されます。
- プレイをストップした後再びプレイすると、ストップしたところからプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの内容が変わっていなければ、ストップしたところからプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類、使用できるUSBデバイスの種類などの詳細については、「オーディオファイル」(p28) をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p15) をご覧ください。
- USBデバイスのコネクタは奥まで確実に差し込んでください。

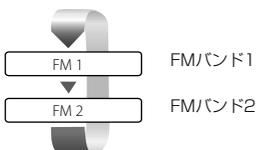
ラジオを聴く



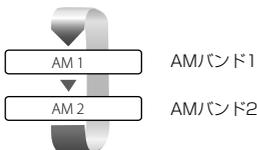
B

バンドを切り替えます

コントロールノブ **B** を上側へ押すと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブ **B** を下側へ押すと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は**ST**インジケーターが点灯します。

A

プリセット局を受信します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。

B

放送局を選択します

コントロールノブ **B** を左右側へ押すと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



- チューニングモードによって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。チューニングモードの設定は「メニュー設定」(p24)の“SEEK”項目で行います。

A

放送局をプリセットします

2秒以上押すと、押したボタンに受信中の放送局がメモリーされます。

C

放送局を自動的にプリセットします

2秒以上押すと、受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。



- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的に終了します。

Music Disc & Audio File Listening

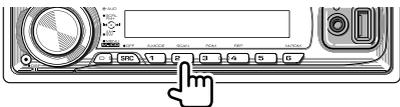
CDやオーディオファイル（CD-ROM/R/RW、USBデバイス、およびKCA-iP100で接続したiPod）を本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。

- CDとオーディオファイルの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」（p12）をご覧ください。
- 本書で「iPod」と呼んでいるのは、KCA-iP100で接続されたiPodを指します。

スキャンプレイ

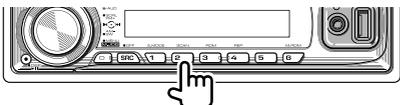
ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



▶ TRAC SCAN ON / FILE SCAN ON

2 聴きたい曲のところ...



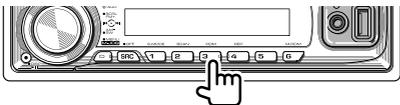
スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- iPodをプレイ中は使用できません。

ランダムプレイ

プレイ中のCD、iPodのブラウズ項目内、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

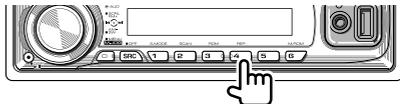


▶ DISC RDM ON / FOLD RDM ON

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CDプレイ中

表示	状態
TRAC REP ON	トラックリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

オーディオファイルプレイ中

表示	状態
FILE REP ON	ファイルリピートオン
FOLD REP ON	フォルダリピートオン (iPodをプレイ中は選択できません)
REP OFF	リピートプレイオフ

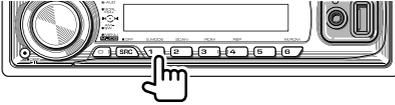
ディスクチェンジャープレイ中

表示	状態
TRAC REP ON	トラックリピートオン
DISC REP ON	ディスクリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

U535

iPodブラウズ項目選択 (iPod & KCA-iP100でプレイ時のみ)

iPodの「ミュージック」メニュー項目を選択します。



次の順で切り替わります。

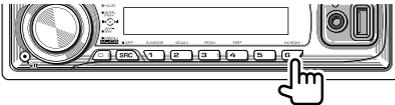
ブラウズ項目	表示
プレイリスト	PLAYLIST
アーティスト	ARTISTS
アルバム	ALBUMS
ポッドキャスト	PODCASTS
ジャンル	GENRES
コンポーザー (作曲家)	COMPOSER



- データがないブラウズ項目は、表示されない場合があります。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中の曲をランダムな順でプレイします。



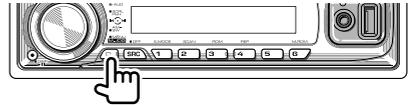
▶ MGZN RDM ON

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

リストセレクト (USB/CDのオーディオファイルプレイ時)

聴きたい曲をメディアのファイル構成を辿って探します。

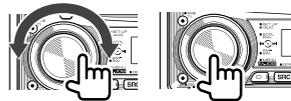
1 リストセレクトモードにします



▶ MULTI JOG ON

プレイ中の曲のファイル名が表示されます。

2 聴きたい曲を探してプレイします

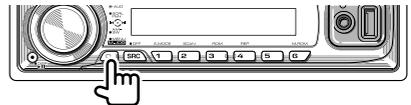


動作	操作
選択フォルダ/ファイルの移動	コントロールノブを回す。
フォルダ/ファイルの決定	コントロールノブを押す。
前のフォルダに戻る	コントロールノブを左に押す。
最初のフォルダ (ルート) に戻る	コントロールノブを左に2秒以上押す。

フォルダ名の横に"<"や">"が表示されている場合は、そのフォルダの前や後にもフォルダがあることを示しています。

ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最後に"*"が表示されます。

リストセレクトを中止するときは…

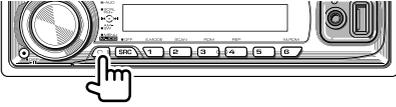


- ランダムプレイ中またはスキンプレイ中は、リストセレクトは行えません。

トラックセレクト (音楽CDプレイ時)

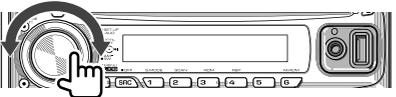
聴きたい曲をコントロールノブを回して選択します。

1 トラックセレクトモードにします

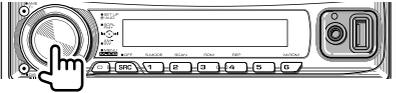


プレイ中のトラックナンバーが表示されます。

2 曲を選択します

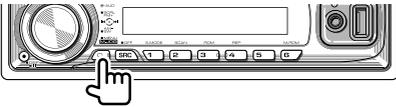


3 選択している曲をプレイします



選択していた曲がプレイされます。

トラックセレクトを中止するときは…



- トラックセレクトは、内蔵CDプレーヤーでプレイ中のみ使用できます。
- ランダムプレイ中またはスキャンプレイ中は、トラックセレクトは行えません。

Audio Control

音響効果などを設定します。

オーディオコントロール

オーディオコントロールでは次の項目を設定できます。

表示	設定内容
R-VOLUME*	2ZONEがオンのとき、リア側の音量を調整します。(設定値: 0~35)
SUB-W L	サブウーファーの音量を調整します。(設定値: -15~+15)
B.BOOST-L**	低音を増強します。設定に合わせてインジケータが点灯します。
NATURAL/USER/ ROCK/VOCAL/ EASY/DANCE/ JAZZ	音楽に合わせてイコライザーカーブを設定します。設定に合わせてインジケータが点灯します。
BASS L	低音域の音量を調整します。
MID L	中音域の音量を調整します。
TRE L	高音域の音量を調整します。
BALANCE	左右の音量バランスを調整します。
FADER	前後の音量バランスを調整します。

元の表示 (解除状態)

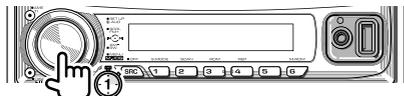
*U535のみの機能です。

**E333のみの機能です。



- 設定方法は「音質などを調整します」(p11)をご覧ください。
- “SW L”は、「メニュー設定」(p24)で“SWPRE”が“SUB-W”(サブウーファー)に設定され、さらに「サブウーファー出力コントロール」(p19)がオンに設定されているときに設定できます。
- “FADER”および“SUB-W L”は、「オーディオセットアップ」(p20)の“2ZONE”が“ON”に設定しているときは表示されません。

イコライザーカーブ設定中は効果の調整ができません。(U535のみ)



表示	設定内容
HIGH	イコライザー効果大
LOW	イコライザー効果小

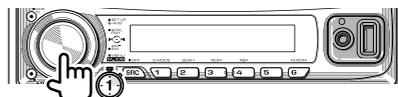
“NATURAL”および“USER”に設定中は調整できません。

オーディオコントロールの詳細設定

U535

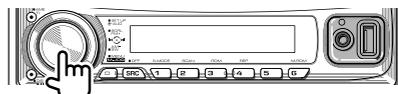
低音、中音、高音を詳細に設定します。

1 詳細設定を開始します



低音域、中音域、高音域を調整中に、“BASS F”、“MID F”または“TRE F”と表示されるまで押し続けます。

2 調整する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

“BASS L”で押したとき

表示	設定内容
BASS F	調整する低音域の中心周波数設定
BASS Q	低音クオリティファクター設定
BASS EXT	低音中心周波数伸張設定

“MID L”で押したとき

表示	設定内容
MID F	調整する中音域の中心周波数設定
MID Q	中音クオリティファクター設定

“TRE L”で押したとき

表示	設定内容
TRE F	調整する高音域の中心周波数設定

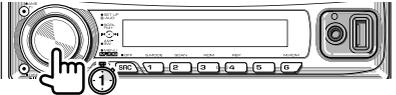
3 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
BASS F	40/50/60/70/80/100/120/ 150 (Hz)
BASS Q	1.00/1.25/1.50/2.00
BASS EX	OFF/ON
MID F	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MID Q	1.0/2.0
TRE F	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

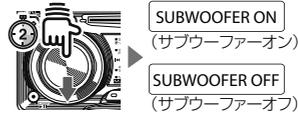
4 詳細設定を終了します



- 各調整項目については「Help? Term」(p29)をご覧ください。

サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



“SUBWOOFER ON”または“SUBWOOFER OFF”と表示されるまで押し続けます。

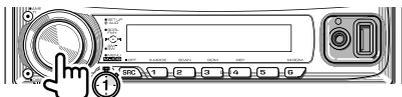


- サブウーファーのオン/オフは、「メニュー設定」(p24)の“SWPRE”項目が“SUB-W”(サブウーファー)に設定されているときに設定できます。

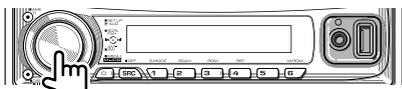
オーディオセットアップ

音量オフセットやサブウーファー設置時のクロスオーバー周波数などを設定します。

1 オーディオセットアップを開始します



2 設定する項目を選びます

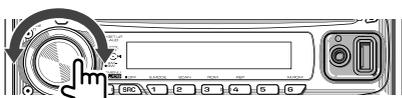


押すたびに、次の順に切り替わります。

項目	設定内容
HPF*	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPR*	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF SW	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
PHASE*	サブウーファーの位相を設定します。
V-OFFSET	ソースごとの音量差を調整します。
2ZONE*	デュアルゾーン機能を設定します。

*U535のみの機能です。

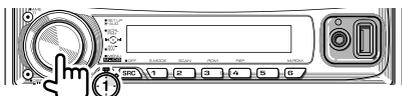
3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF/HPR	THRU/80/100/120/150/180 (Hz)
LPF SW	U535: 60/80/120/THRU E333: 80/120/160/THRU (HZ)
PHASE	Reverse (180°) /Normal (0°)
V-OFFSET	0 ~ -8 (AUX: -8 ~ +8)
2ZONE	ON/OFF

4 オーディオセットアップを終了します

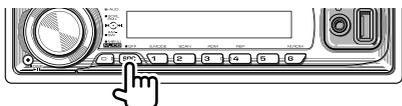


- "V-OFFSET" でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- "LPF SW" および "PHASE" は、「メニュー設定」(p24)で "SWPRE" が "SUB-W" (サブウーファー) に設定され、さらに「サブウーファー出力コントロール」(p19) がオンに設定されているときに設定できます。
- "PHASE" は "LPF SW" が "THRU" に設定されているときは表示されません。
- "2ZONE" が "ON" に設定されているときは、"HPF" および "LPR" は表示されません。

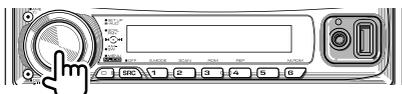
スピーカー設定

イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

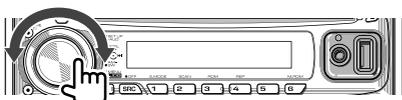
1 STANDBYモードにします



2 スピーカーマッチングモードにします



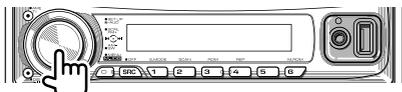
3 スピーカーを選択します



回すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定内容
STANDARD	標準的なスピーカーに合う設定。
MIDDLE	低音域のあまり出ない 小型のスピーカーに合う設定。
WIDE	低音域のよく出る 大型のスピーカーに合う設定。
NARROW	周波数帯域が狭い スピーカーに合う設定。

4 スピーカーマッチングモードを終了します



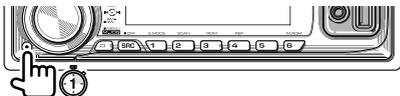
Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイセレクトモードにします



2 表示を選択します



左右に押すたびに、次の順に切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQUENCY	周波数
CLOCK	時計

CDプレイ/ディスクチェンジャープレイ時

表示	設定内容
DISC TITLE	ディスクタイトル
TRACK TITLE	トラックタイトル
P-TIME	トラック演奏時間&トラック番号
CLOCK	時計

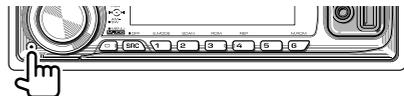
オーディオファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE/ARTIST	曲名&アーティスト名
ALBUM/ARTIST	アルバム名&アーティスト名
FOLDER NAME	フォルダ名
FILE NAME	ファイル名
P-TIME	ファイル演奏時間 & 曲番号
CLOCK	時計

AUX時、STANDBY時

表示	設定内容
SOURCE NAME	"STANDBY"/AUX ネーム
CLOCK	時計

3 ディスプレイセレクトモードを終了します



- 時計表示に設定すると、すべてのソースで時計表示に設定されます。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。

タイトル/テキストスクロール

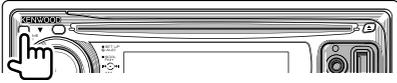
タイトル/テキストをスクロールさせます。



- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
 - ディスクタイトル/トラックタイトル
 - ディスクテキスト/トラックテキスト
 - フォルダ名
 - 曲名
 - アルバム名
 - ファイル名
 - アーティスト名

操作パネルの取り外し

操作パネルを取り外します。



パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

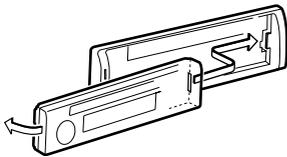


- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所

操作パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。
 パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

Menu Control

各種の機能を設定します。

メニュー設定

以下の機能の設定をします。

表示	設定	設定概要	ソース
CLOCK ADJUST	p25参照	時計を調整します。	SB
DISPLAY	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
DIMMER*1	AUTO*/OFF	車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさを減光します。	SB
DIMMER*2	ON/OFF*	ディスプレイを減光します。	
DOT LINE	ON/OFF*	ディスプレイの赤いドットラインの表示設定をします。	SB
SWPRE	REAR*/SUB-W	プリアウトの出力を設定します。	SB
ZONE2*1	REAR*/FRONT	デュアルゾーン機能オン時のAUX入力音声の出力先を設定します。	SB
SUPREME	ON*/OFF	Supreme機能のオン/オフを設定します。	AF
SEEK	AUTO1*/AUTO2/MANUAL	チューニングモードを設定します。	Tuner
MONO	ON/OFF*	モノラルで受信します。	Tuner
NAME SET	p25参照	AUXソースに名前を付けます。テキストスクロールを設定します。	AUX
SCROLL	AUTO*/MANUAL	テキストスクロールを設定します。	
NAV GUIDE	OFF*/ATT	接続されているナビの音声ガイド時のミュート設定をします。	SB
AUX	OFF/ON1*/ON2	ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	SB

*お買い上げ時の設定状態を示します。

*1U535の機能です。*2E333の機能です。

SB : スタンバイ以外のときに設定できます。

SB : スタンバイ中に設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

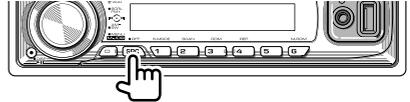
AF : USB (iPadを除く)/CDのオーディオファイルソース中に設定できます。

AUX : AUXソース中に設定できます。

FM : FMを受信中に設定できます。

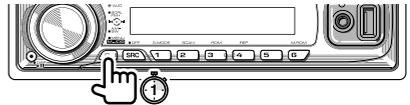
ソース欄が空欄の場合は、すべてのソース中に設定できます。

1 ソースを切り替えます

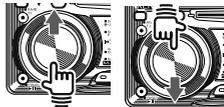


表示される項目は、ソースによって異なります。ソース欄を参照してください。

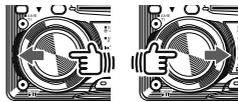
2 メニューモードにします



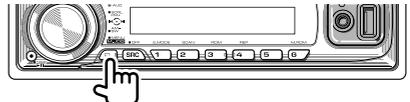
3 設定する項目を選択します



4 各項目を設定します



5 メニューモードを終了します



- 参照ページ番号が記載されている項目の設定方法は、それぞれのページをご覧ください。
- 各項目の詳細については、「Help? Term」(p30) をご覧ください。
- “ZONE2” は、「オーディオセットアップ」(p20) の、“2 ZONE” が “ON” に設定されているときに表示されます。

時刻合わせ

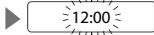
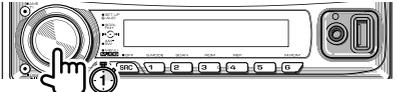
本機の時計を合わせます。

1 時刻合わせの項目を選択します



設定項目の選択のしかたは「メニュー設定」(p24)を参照してください。

2 時刻合わせを開始します



時計表示になるまで押し続けます。

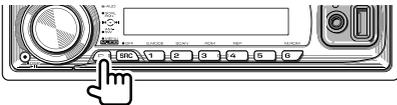
3 “時”を調整します



4 “分”を調整します



5 時刻合わせを終了します



- 時計は12時間制です。
- “分”を調整するときには、時計合わせ終了時に00秒からスタートします。

AUXネームセレクト

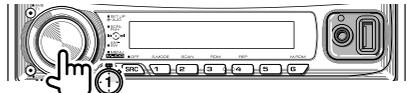
ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前(AUXネーム)を設定します。

1 AUXネームセットの項目を選択します



設定項目の選択のしかたは「メニュー設定」(p24)を参照してください。

2 AUXネーム選択を開始します



現在設定しているAUXネームが表示されます。

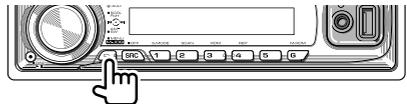
3 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

表示
AUX
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

4 AUXネーム選択を終了します

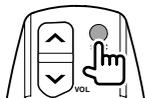


- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。
- AUXネームの設定は、内蔵AUXのほかにも別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXでも行えます。なお、KCA-S220Aの初期設定では、“AUX EXT”と表示されます。

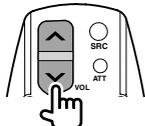
Remote Controller (U535付属)

共通操作

ソース切り替え

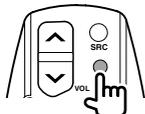


音量調整



アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります。音が小さくなっているときには"ATT"インジケータが点滅します。



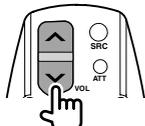
オーディオコントロール

音質などを調整します。

- 1 調整する項目を選びます。

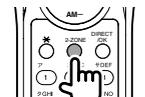


- 2 調整します。



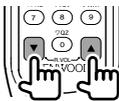
デュアルゾーン

デュアルゾーン機能をオン/オフします。



リア音量調整

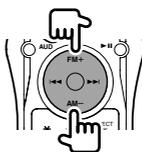
デュアルゾーン機能オン時のリアの音量を調整します。



ラジオ

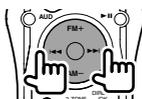
バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。



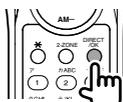
選局

受信する放送局を切り替えます。

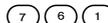


ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。



例：76.1 MHz (FM) の場合 (3桁)



例：522 kHz (AM) の場合 (4桁)

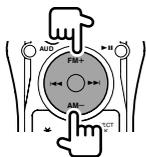


プリセットチューニング



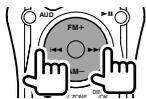
CD/USBデバイス

ディスクサーチ/フォルダサーチ (ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ)



また、テンキー(①～⑩)に続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ



また、テンキー(①～⑩)に続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

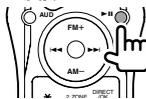


- ランダムプレイ中、スキャンプレイ中、およびiPodをプレイ中は、ダイレクトサーチは行えません。

プレイ/ポーズ

プレイを一時停止します。

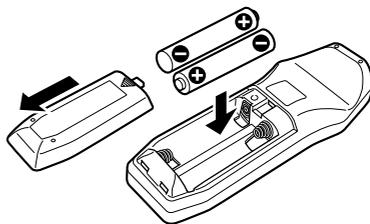
もう一度押すと、プレイを再開します。



- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- リモコンを直射日光の当たる場所など、高温になる場所放置しないでください。変形など故障の原因となります。
- 電池を炎の中に入れてたり、高温による場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

電池の入れかた

付属の電池(単三形2本)を+/-の向きを正しく合わせて入れてください。



- 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma)

プレイできるディスクメディア

CD-R, CD-RW, CD-ROM

プレイできるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name

プレイできるUSBデバイス (U535のみ)

USBマストレージクラス、KCA-iP100で接続されたiPod

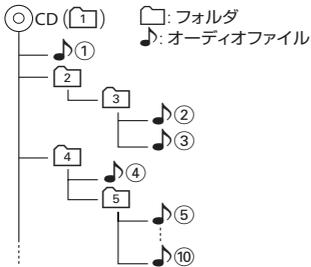
プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット

FAT16, FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルのプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofile/で公開しています。オンラインマニュアルには、本書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。本書とあわせて必ずお読みください。



- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
 - iPodをKCA-iP100で本機に接続していると、“USB”表示は認識後に“iPod”になり、本機からコントロールが可能になります。(本書で断りの無い限り「iPod」と呼んでいるのはKCA-iP100で接続されたiPodを指します。)
- KCA-iP100に接続可能なiPodはFifth Generation iPod、

iPod classic、iPod nano、およびiPod touchです。(詳しくはカタログをご覧ください。)

- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodでプレイしていた曲から始まります。タイトルなどを切り替えると、ブラウザ項目が“PLAYLIST”に切り替わり曲のタイトルなどが表示されます。
- iPodを接続している間は、iPodに“KENWOOD”と表示され、iPodの操作はできません。
- USBハブやマルチカードリーダーを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

Troubleshooting

❓ 操作スイッチを押しても動作しない

- ✓ システムに異常が発生している。
- ➡ リセットボタンを押してください(p8)。

❓ チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
 - ➡ アンテナを十分に伸ばしてください。
-
- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
 - ➡ 「接続」(p34)を参照して正しく接続し直してください。

❓ ディスクが取り出せない

- ✓ ディスクが排出の途中で止まっている。
- ➡ ディスクが完全に排出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

❓ CDやオーディオファイルをプレイできない

- ✓ ディスクが異常に汚れている。
- ➡ 「使用上のご注意」(p8)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

❓ オーディオファイルをプレイ中に音飛びする

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
 - ➡ 「使用上のご注意」(p8)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
-
- ✓ ディスク作成時の問題。
 - ➡ ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

❓ フォルダサーチをすると雑音が出る

- ✓ オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。
- ➡ オーディオファイルが入っていないフォルダを作成しないでください。

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。

MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p28)をご覧ください。

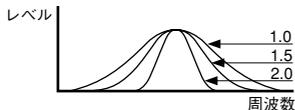
ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

オーディオコントロール

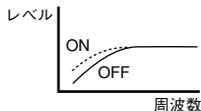
BAS Q/MID Q (バスクオリティファクタ/ミッドクオリティファクタ)

低音と中音の調整スローブを設定します。値が大きくなるほどスローブの傾斜が急になります。



B EX (バスエクステンデッド)

“ON”に設定すると、低音中心周波数を低域側に約20%伸びた状態にします。



HPF (ハイパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも低い成分をカットします。プリアウトをサブウーファーのように使用するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“THRU”に設定すると、この機能をオフにできます。本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー(HPF)とリアスピーカー(HPR)に独立して設定できます。

LPF (ローパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも高い成分をカットします。プリアウトをサブウーファー用に使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“THRU”に設定すると、この機能をオフにできます。

PHASE (サブウーファーフェイズ)

サブウーファーの位相(正相/逆相)を設定します。

V-OFFSET (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

2ZONE (デュアルゾーン)

“ON”に設定すると、メインソースとサブソース(AUX入力)をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力します。

- 内蔵AUX(サブソース)の出力先は、「メニュー設定」(p24)の“ZONE2”項目で設定します。
- メインソースは「ソースを切り替えます」(p11)で設定します。
- フロントの音量はコントロールノブで調整します。
- リアの音量は「オーディオコントロール」(p18)の“R-VOLUME”またはリモートコントローラーの“R.VOL” (p26)で調整します。

MENU

DISPLAY (ディスプレイ)

“OFF”に設定して本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイが消えます。ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

DIMMER (ディマー)

U535：車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

E333：ディスプレイの明るさを設定します。“ON”にすると、暗くなります。

SWPRE (スイッチングプリアウト)

プリアウトをリア用出力(“REAR”)またはサブウーファー用出力(“SUB-W”)に切り替えます。

ZONE2

デュアルゾーン機能がオンのときのサブソース(AUX入力)の出力先(フロントスピーカー“F”またはリアスピーカー“R”)を設定します。

SUPREME (サブリーム)

低いビットレート(128Kbps以下、サンプリング周波数は44.1kHz)でエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が表れ難い場合があります。

SEEK

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音軽減されて聞き易くなる場合があります。

SCROLL (スクロール)

ディスプレイに曲名などを表示しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておくでスクロール表示を繰り返す行い、“MANUAL”に設定しておくで表示

が変わったときだけ1回スクロール表示するようになります。

NAME SET (ネームセット)

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

AUX (内蔵AUX入力)

この機能をオンにすることにより、AUXソースを選択できるようになります。

ON1：AUXソースに切り替えたときに、内蔵AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。常に外部機器を内蔵AUX端子に接続しているときはこの設定にします。

ON2：AUXソースで電源をオンにしたときに、アッテネーター機能が働きます。外部機器の音声を聴くときは、ボリュームノブを時計回りに回してアッテネーター機能を解除します。この設定しておくで、外部機器を内蔵AUX端子に接続していないときに出る雑音を防ぎます。

OFF：AUXソースが選択できないようになります。内蔵AUX端子を使用しないときは、この設定にします。

CD READ (CDリード)

CDの読み込み方法を設定します。

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。

2：音楽CDとして強制的にプレイします。

NAV GUIDE (ナビガイド)

“ATT”に設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。

この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションに接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」または「オーディオ接続設定」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERROR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

READ ERROR :

- 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。
- ➔ USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

NA FILE :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとした。

COPY PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

E-77 :

- 何らかの原因で正常に動作していない。
- ➔ 本機のリセットボタンを押してください。“E-77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD :

- ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
- ➔ 本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

ERROR 99 :

- 何らかの原因で正常に動作していない。
- ➔ イジェクトキーを押してください。イジェクトキーを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

IN インジケーターが点滅 :

- CDプレーヤーが正常に動作していない。
- ➔ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

READING (点滅) :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

PROTECT (点滅) :

- スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。
- ➔ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。“PROTECT”表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

NO DEVICE :

- USBデバイスが接続されていないときにUSBソースにした。
- ➔ USBデバイスを接続し、再びUSBソースにしてください。

N/A DEVICE :

- サポートされていないUSBデバイスを接続した。
- ➔ リムーブモードにしないで取り外してください。サポートされているUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p28)を参照してください。

NO MUSIC/ERROR 15 :

接続されているUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB ERROR/USB (点滅) :

- 接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。
- ➔ USBデバイスを取り外し、電源を入れなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

iPod ERROR

- iPodとの接続に不具合が発生しています。
- ➔ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。接続可能なiPodについては「オーディオファイル」(p28)を参照してください。
- ➔ iPodをKCA-iP100から取り外し、接続しなおしてください。
- ➔ iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

USB REMOVE (点滅)

USBデバイス/iPodがリムーブモードになっています。USBデバイス/iPodが安全に取り外せます。

取り付け時のご注意

警告



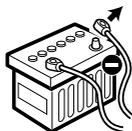
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続

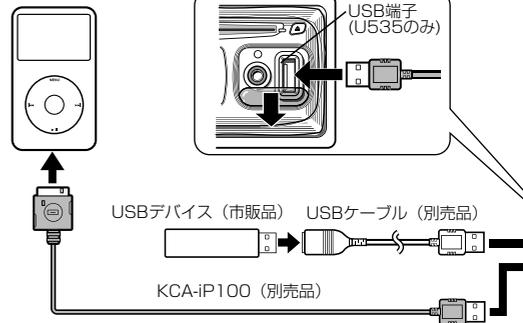


実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。

iPod（市販品）



使用するUSBケーブルにはCA-U1EX（別売品）をお勧めします。



注意

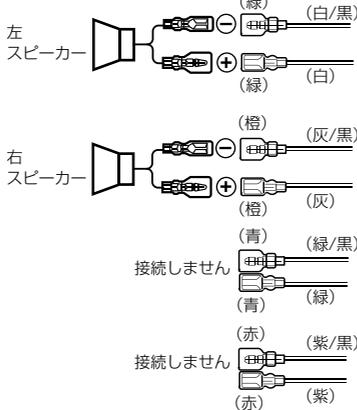
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



注意

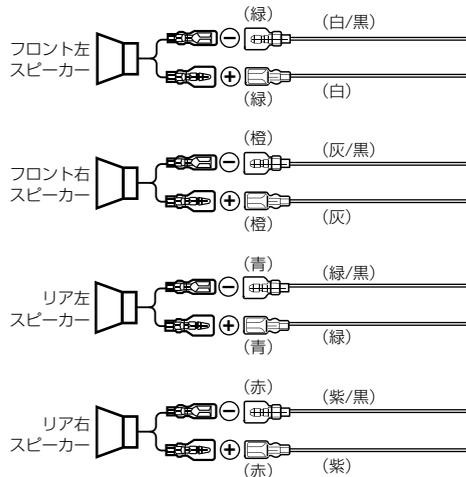
- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

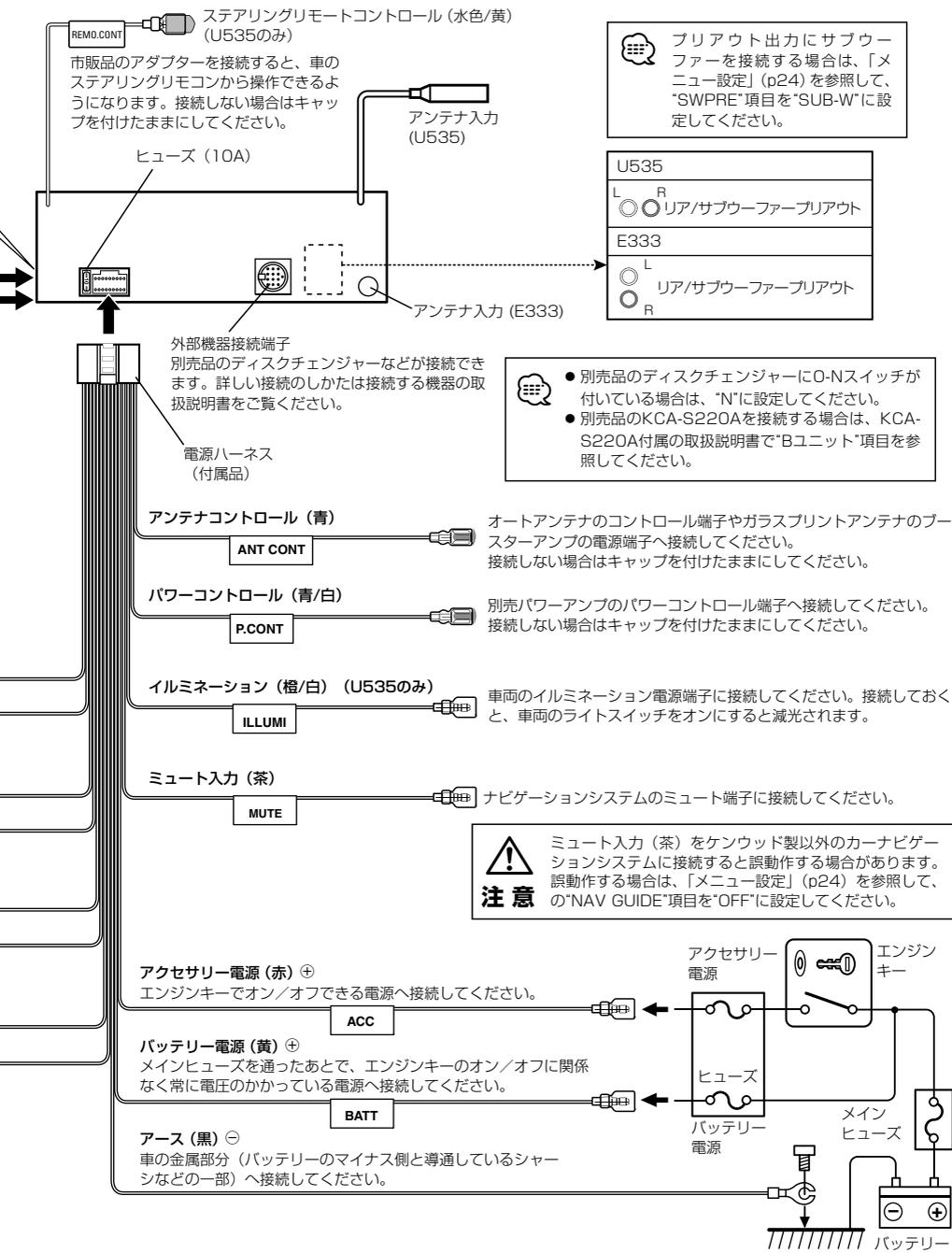
2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。





ステアリングリモートコントロール (水色/黄) (U535のみ)

市販品のアダプターを接続すると、車のステアリングリモコンから操作できるようになります。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ヒューズ (10A)

アンテナ入力 (U535)

プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、「メニュー設定」(p24)を参照して、「SWPRE」項目を「SUB-W」に設定してください。

U535	
L	R
○	○
リア/サブウーファープリアウト	
E333	
L	
○	
リア/サブウーファープリアウト	
	R

アンテナ入力 (E333)

外部機器接続端子
別売品のディスクチェンジャーなどが接続できます。詳しい接続のしかたは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

電源ハーネス (付属品)

●別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、「N」に設定してください。
●別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で「Bユニット」項目を参照してください。

アンテナコントロール (青)

ANT CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプスターアップの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール (青/白)

P.CONT

別売パワーアップのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

イルミネーション (橙/白) (U535のみ)

ILLUMI

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。接続しておくと、車両のライトスイッチをオンにすると減光されます。

ミュート入力 (茶)

MUTE

ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。

注意 ミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(p24)を参照して、「NAV GUIDE」項目を「OFF」に設定してください。

アクセサリ電源 (赤) ⊕

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

ACC

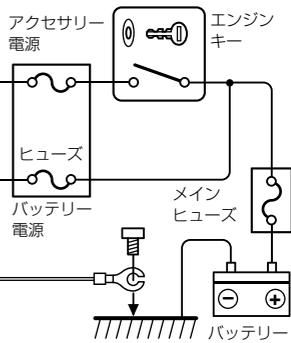
バッテリー電源 (黄) ⊕

メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

BATT

アース (黒) ⊖

車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部) へ接続してください。



取り付け

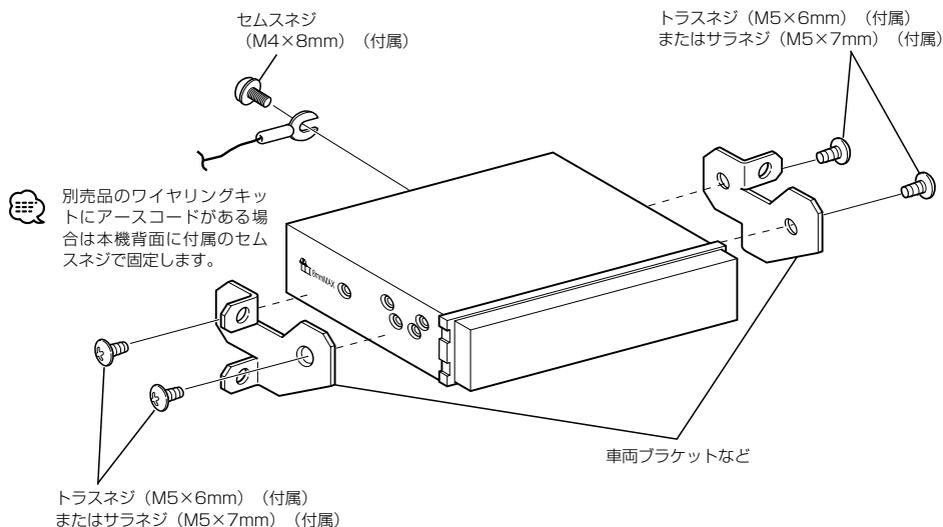
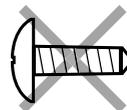
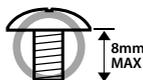
付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を6本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
サラネジ (M5 × 7 mm)	4
セムスネジ (M4 × 8 mm)	1



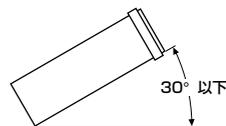
注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
 付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
 なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります



● 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N: 30 dB)
: 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度: 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3.0 dB) : 30 Hz~15 kHz
S/N比: 70 dB (MONO)
選択度 (± 400 kHz) : 80 dB以上
ステレオセパレーション: 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度: 28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード: GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)
: 8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター: 24 Bit
回転数: 500~200 rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター: 測定限界以下
周波数特性: 10 Hz~20 kHz (± 1 dB)
高調波歪み率: 0.008 % (1 kHz)
S/N比: 110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ: 93 dB
MP3デコード: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード: Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード: AAC-LC ".m4a" ファイル

USB I/F部 (U535)

USB規格: USB 1.1/2.0
ファイルシステム: FAT16/32
最大供給電流: 500 mA
MP3デコード: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード: Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード: AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

オーディオ部

最大出力: 50 W \times 4
定格出力: 30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス: 4~8 Ω
オーディオコントロール
バス: 100 Hz \pm 8 dB
ミドル: 1 kHz \pm 8 dB
トレブル: 10 kHz \pm 8 dB
プリアウトレベル (CD/CD-CH)
U525: 2500 mV/10 k Ω
E333: 2000 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス: 600 Ω 以下

AUX入力

周波数特性: 20 Hz~20 kHz (± 1 dB)
入力最大電圧: 1200 mV
入力インピーダンス: 10 k Ω

電源部

電源電圧: 14.4 V (11~16 V)
最大消費電流: 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)
: 178 \times 50 \times 160 mm
重量: 1.20 kg

付属部品

電源ハーネス: 1本
トラスネジ (M5 \times 6 mm): 4本
サラネジ (M5 \times 7 mm): 4本
セムスネジ (M4 \times 8 mm): 1本



これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」(p28)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(右記「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎ 007-0834 札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎ (011) 743-7740

東北		
仙台サービスセンター	☎ 984-0042 仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	☎ (022) 284-1171

関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎ 330-0801 さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	☎ 277-0081 柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	☎ 226-8525 横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	☎ 950-0923 新潟市姥ヶ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター (修理持込専用窓口)	☎ 153-0042 目黒区青葉台3-17-9	☎ (03) 3477-5411*

*目黒サービスセンターへの電話でのお問い合わせは、当社カスタマーサポートセンターに転送にて承ります。

中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎ 462-0861 名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	☎ 420-0816 静岡市葵区荻谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 920-0036 金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045

近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	☎ 760-0068 高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国		
広島サービスセンター	☎ 731-0137 広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州		
福岡サービスセンター	☎ 815-0035 福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	☎ 890-0063 鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	☎ 901-2101 浦添市西原4-36-17 (株) 物琉2F)	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、各営業所にご相談ください。